

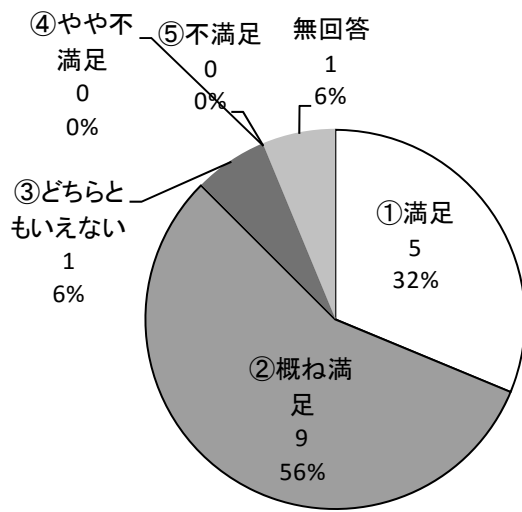
### 第三者評価等のための研究力把握に関する勉強会アンケート結果

「第三者評価等のための研究力把握に関する勉強会」アンケートは、参加者 26 名のうち、スタッフ 6 名を除いた 20 人中 16 人から回答があった。勉強会の満足度は図 1 に示す通り、出席者の約 1 / 3 が「満足」と回答した。課題や悩みの程度によっては、この勉強会で、もう少し解決が得られることを期待した参加者がいたようで、参加者同士の課題の共有にとどまったことを残念がる意見もあった。今回の勉強会は 2 つの班に分かれ、それぞれ別の内容を扱った。A 班は研究力把握全般についてをテーマとしたが、現時点で対応の最中である国立大学法人評価の現況調査表における優れた研究業績の取扱いについて、参加者の所属する大学での具体的な課題や悩みが寄せられたため、時間内ではそれらの共有どまりで、収束に及ばなかった可能性がある。B 班は、書誌情報分析ツールで扱う指標の理解を深め、それらを用いて研究力を把握することを想定して企画したが、その効果はあったようである。

今後取り扱ってほしいテーマ・内容には、今回のような研究力把握や研究力分析がテーマの勉強会は開催が少ないので今後も開催してほしい、文系分野や学際分野の研究力評価方法について議論を深めたい、ケーススタディや実際の書類を用いて検討したい、という意見が複数あった。

(藤井 [名古屋大])

H28 年 2 月 8 日開催



満足度 (N=16)

図 1 : 満足度

## アンケート結果の詳細

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
A-1	国	他大学の状況 共通の悩みの共有 文系の評価指標の考え方(今後の課題) 業績評価、外にも内にも説明できる根拠の提示の必要性	③どちらともいえない	もう少し、悩み解決ができると思いましたが、他大学も同じ悩みであることが共有できたのは良かったかも。		
A-2	私	テーマの関係で私大の出席者が少なかったところではありますが、本学の課題に対し、URAの方にご回答頂き、普段得られない知見を得ることができました。	②概ね満足	「SS」「S」の評価根拠などの大学様もご苦労されているのがわかりました。特にデータベースに関しては研究者による入力はどこも苦慮されておりましたので、何かその仕組みを回せるWS等があっても良いかもしれません。	2.と同様です。	研究力把握をテーマにされている勉強会は少なく、大変参考になりました。是非今後も継続頂ければと思います。本日は誠にありがとうございました。
A-3	関係機関	各機関の評価担当者の方々が色々ご苦労されていることがわかりました。	②概ね満足	A班・B班両方の内容に興味があったのですが、片方しか参加できなかったのはもったいないと思いました。	研究力分析の手法をアツカっていたただけると大変勉強になり、助かります。	いつも様々なイベントを企画していただきありがとうございます。
A-4	公	自学が国立でないためにカバーできていなかった法人評価について知る事ができ、今後の自分の調査活動にとって参考になりました。	②概ね満足	大学評価・学位授与機構からの第一期法人評価を踏まえたフィードバックがもう少しあると良かったと思います。また、そのデータをどう使っていくのか、いきたいのかが分かれば、こちらとしてもどういった情報を出していくか考え様があるのではないのでしょうか。	2.で述べた第1期評価の扱いについて	参加させていただきありがとうございました。次回参加できるようでしたらもっと勉強し、皆様の参考になる様なお話をさせていただきます。
A-5	国	どこも同じ苦労をしていると知り、良くも悪くもなぐさめられた。	②概ね満足	共有で終わってしまった感があるが、第1回と考えれば、これでよい。	研究担当副学長と一緒に出席しないといけない感じの内容にさせていただいて、共有の機会があるとよい。	

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
A-6	国	・他大学の状況が良く分かった	①満足	・本学の遅れている状況が分かった点		
A-7	国	各大学が問題に感じていることを共有でき、問題を解消する糸口を見つけることができました。 みなさん困っていて、自分だけが困っているわけではないのは少し安心しました。	①満足	1.と同じです。(得たことで満足です。)	法人評価等の評価の書類を具体的に持ち寄りダメ出し合ってより良い書類を作成する勉強会をやってほしいです。	いつもありがとうございます。 今後ともよろしく願います。
A-8	国	{他大学・自大学}での問題点とその対処法 大学評価学位授与機構側の考え方 その他評価に関する考え方	①満足	A班にて情報交換ができたためB班の概況も確認できた		
A-9	企業	各大学様の課題が具体的に分かりました。 お誘いいただき、ありがとうございました。				
B-1	国	・InCitesの各指標について確認できた。 ex. Top 10%と Highly Cited Paperのちがい ・同、新しい機能について知ることができた。 ・各大学の状況について、情報を共有することができた。	②概ね満足		・論文以外の研究成果のとりまとめ、評価の方法について。	・この手の話題はなかなか学外の方と意見交換をする機会がないので、引き続き開催いただくと大変ありがたいです。
B-2	国	書誌情報分析の指標と大学評価のための指標の関係が理解できた。	②概ね満足	評価上の問題点(人社系の評価など)について意見を聞くことができた。		
B-3	公	業績評価の考え方について、指標に限らず他大学の事例などをうかがう機会が得られて良かった。	②概ね満足	業務として大学評価に関わることが少ない(少ない)が、研究力評価をどのような根拠で示していくか、項目を設定するところから求められる支援する機会が増えてきており、評価に際しての考え方など基本的なところか	人文・社会科学、学際融合分野評価のケーススタディ	

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
				ら取り扱っていたので、たいへん参考になった。		
B-4	国	任意の論文に割り振られている WoS 分野全ての Percentile 値確認方法、及びダウンロード数と EndNote 登録数の活用方法	②概ね満足	実際に手を動かして、使い方、捉え方に関する理解を深めていけたら嬉しいです。(時間的な問題はあるかと思いますが…)	例題を用いて、考察を行う会、など	指標値に関し、新たに勉強した点がありました。大変参考になりました。
B-5	国	①論文自体の指標→ ②ジャーナルの指標→…と広げていくやり方を、少し整理できた気がしました。	②概ね満足	法人評価に関わる初学者として、いろいろ勉強になりました。		B 班でしたが、A 班のディスカッションもとても気になりました。
B-6	国	InCites の新しい指標の使い方、分析の視点など共有させて頂き、勉強になりました。ありがとうございます。	①満足			
B-7	国	研究の現況調査表(研究説明書)にどのようにデータベースを用いればよいのか、よくわかった。	①満足	対象となるデータベースになれていないので詳しい内容がわからなかったが、どのように活用ができるのか、とても参考になった。	大学での担当者向けの同様の勉強会の開催があれば、参加したいと思います。	ほぼ初心者にも配慮いただき、ありがとうございました。

以上